凱崴電子股份有限公司及子公司

合併財務報告暨會計師核閱報告

民國105及104年第3季

地址：桃園市桃園區興邦路32號

電話：(03)366-0667

§目　　錄§

項目	頁次	財務報告附註編號
一、封　面	1	-
二、目　錄	2	-
三、會計師核閱報告	3	-
四、合併資產負債表	4	-
五、合併綜合損益表	5	-
六、合併權益變動表	6	-
七、合併現金流量表	7～8	-
八、合併財務報告附註		
(一) 公司沿革	9	一
(二) 通過財務報告之日期及程序	9	二
(三) 新發布及修訂準則及解釋之適用	9～14	三
(四) 重大會計政策之彙總說明	14	四
(五) 重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源	14～15	五
(六) 重要會計項目之說明	15～29	六～二二
(七) 關係人交易	35～36	二五
(八) 質押之資產	36	二六
(九) 重大或有負債及未認列之合約承諾	-	-
(十) 重大之災害損失	-	-
(十一) 重大之期後事項	-	-
(十二) 其　他	30～35、36～37	二三～二四、二七～二八
(十三) 附註揭露事項		
1. 重大交易事項相關資訊	37～38	二九
2. 轉投資事業相關資訊	37～38	二九
3. 大陸投資資訊	37～38	二九
(十四) 部門資訊	38	三十

Deloitte.

勤業眾信

勤業眾信聯合會計師事務所
10596 台北市民生東路三段156號12樓

Deloitte & Touche
12th Floor, Hung Tai Financial Plaza
156 Min Sheng East Road, Sec. 3
Taipei 10596, Taiwan

Tel :+886 (2) 2545-9988
Fax:+886 (2) 4051-6888
www.deloitte.com.tw

會計師核閱報告

凱崴電子股份有限公司　公鑒：

凱崴電子股份有限公司及其子公司民國105年及104年9月30日之合併資產負債表，暨民國105年及104年7月1日至9月30日，以及民國105年及104年1月1日至9月30日之合併綜合損益表、民國105年及104年1月1日至9月30日之合併權益變動表與合併現金流量表業經本會計師核閱竣事。上開合併財務報表之編製係管理階層之責任，本會計師之責任則為根據核閱結果出具報告。

本會計師係依照審計準則公報第三十六號「財務報表之核閱」規劃並執行核閱工作。由於本會計師僅實施分析、比較與查詢，並未依照一般公認審計準則查核，因是無法對上開合併財務報表之整體表示查核意見。

依本會計師核閱結果，並未發現第一段所述合併財務報表在所有重大方面有違反證券發行人財務報告編製準則及經金融監督管理委員會認可之國際會計準則第34號「期中財務報導」而須作修正之情事。

勤業眾信聯合會計師事務所

會計師　鄭旭然　　會計師　黃瑞展

金融監督管理委員會核准文號
金管證審字第1010028123號

證券暨期貨管理委員會核准文號
台財證六字第0920123784號

中華民國105年11月9日

凱崴電子股份有限公司及子公司

合併資產負債表

民國 105 年 9 月 30 日暨民國 104 年 12 月 31 日及 9 月 30 日

單位：新台幣仟元

代碼	資產	105年9月30日（經核閱）金額	%	104年12月31日（經查核）金額	%	104年9月30日（經核閱）金額	%
	流動資產						
1100	現金及銀行存款（附註六）	$ 187,249	7	$ 135,708	5	$ 141,472	5
1110	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動（附註七）	85,463	3	30,410	1	9,216	-
1125	備供出售金融資產－流動（附註八）	222,121	8	127,377	5	183,829	6
1150	應收票據（附註九）	38,027	1	13,009	1	33,103	1
1170	應收帳款（附註九）	442,406	15	452,772	17	486,195	17
1200	其他應收款（附註九）	52,270	2	38,587	1	43,752	2
130X	存貨（附註十）	489,019	17	497,905	18	534,353	18
1421	預付款項	24,851	1	25,094	1	23,609	1
1412	預付租賃款（附註十五）	1,389	-	1,495	-	1,528	-
1470	其他流動資產	74	-	848	-	913	-
11XX	流動資產總計	1,542,869	54	1,323,205	49	1,457,970	50
	非流動資產						
1543	以成本衡量之金融資產－非流動（附註十一）	69,797	2	69,797	3	69,797	3
1550	採用權益法之投資（附註十三）	6,019	-	5,730	-	5,458	-
1600	不動產、廠房及設備－淨額（附註五、十四及二六）	1,034,744	36	1,062,563	39	1,091,821	38
1805	商譽	7,751	-	8,343	-	8,528	-
1840	遞延所得稅資產（附註四）	76,768	3	82,498	3	83,728	3
1920	存出保證金（附註二二）	1,893	-	1,955	-	1,953	-
1915	預付款項－非流動	14,153	1	61,153	2	43,869	2
1985	長期預付租賃款（附註十五）	81,619	3	88,977	3	91,334	3
1990	其他非流動資產（附註十七）	19,318	1	20,647	1	38,758	1
15XX	非流動資產總計	1,312,062	46	1,401,663	51	1,435,246	50
1XXX	資產總計	$ 2,854,931	100	$ 2,724,868	100	$ 2,893,216	100
代碼	負債及權益						
	流動負債						
2100	短期借款（附註十六）	$ 492,736	17	$ 382,000	14	$ 408,711	14
2110	應付短期票券（附註十六）	54,984	2	24,968	1	24,993	1
2120	透過損益按公允價值衡量之金融負債－流動（附註七）	-	-	404	-	946	-
2150	應付票據	295	-	274	-	17	-
2170	應付帳款	106,770	4	107,120	4	138,050	5
2219	其他應付款	61,565	2	94,281	3	138,632	5
2230	本期所得稅負債（附註四及二十）	837	-	848	-	59	-
2320	一年內到期之長期借款（附註十六）	44,000	2	44,000	2	33,000	1
2399	其他流動負債	1,610	-	1,476	-	1,971	-
21XX	流動負債總計	762,797	27	655,371	24	746,379	26
	非流動負債						
2540	長期借款（附註十六）	199,000	7	232,000	8	243,000	8
2570	遞延所得稅負債（附註四）	27,425	1	45,020	2	49,007	2
2600	預收款項（附註二八）	154,973	5	-	-	-	-
25XX	非流動負債總計	381,398	13	277,020	10	292,007	10
2XXX	負債總計	1,144,195	40	932,391	34	1,038,386	36
	歸屬於本公司業主之權益						
3100	股本	1,618,959	57	1,618,959	59	1,618,959	56
3200	資本公積	20,565	1	20,565	1	20,565	1
3300	保留盈餘	98,336	3	93,684	4	89,864	3
3400	其他權益	(27,124)	(1)	59,269	2	125,442	4
31XX	本公司業主權益總計	1,710,736	60	1,792,477	66	1,854,830	64
36XX	非控制權益	-	-	-	-	-	-
3XXX	權益總計	1,710,736	60	1,792,477	66	1,854,830	64
	負債與權益總計	$ 2,854,931	100	$ 2,724,868	100	$ 2,893,216	100

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

董事長：周邦基　　經理人：初從維　　會計主管：游章渭

凱崴電子股份有限公司及子公司

合併綜合損益表

民國 105 年及 104 年 7 月 1 日至 9 月 30 日以及民國 105 年及 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元，惟每股盈餘為元

代碼		105年7月1日至9月30日 金額	%	104年7月1日至9月30日 金額	%	105年1月1日至9月30日 金額	%	104年1月1日至9月30日 金額	%
4000	營業收入	$ 222,452	100	$ 225,218	100	$ 582,456	100	$ 673,934	100
5000	營業成本（附註十及十九）	178,888	80	203,779	90	478,662	82	598,220	89
5900	營業毛利	43,564	20	21,439	10	103,794	18	75,714	11
	營業費用（附註十七及十九）								
6100	推銷費用	14,751	7	10,080	5	40,374	7	33,746	5
6200	管理費用	11,481	5	9,606	4	31,353	6	28,637	4
6300	研究費用	2,987	1	2,337	1	7,463	1	6,817	1
6000	營業費用合計	29,219	13	22,023	10	79,190	14	69,200	10
6900	營業淨利（損）	14,345	7	(584)	-	24,604	4	6,514	1
	營業外收入及支出								
7010	其他收入（附註十九）	3,099	1	235	-	4,692	1	1,981	-
7020	其他利益及損失（附註十九）	(7,583)	(3)	457	-	(10,654)	(2)	8,541	1
7050	財務成本（附註十九）	(4,044)	(2)	(4,470)	(2)	(11,519)	(2)	(14,311)	(2)
7060	採用權益法認列之關聯企業損益之份額	144	-	(130)	-	289	-	(1,269)	-
7000	營業外收入及支出合計	(8,384)	(4)	(3,908)	(2)	(17,192)	(3)	(5,058)	(1)
7900	稅前淨利（損）	5,961	3	(4,492)	(2)	7,412	1	1,456	-
7950	所得稅費用（利益）（附註四及二十）	1,934	1	(61)	-	2,760	-	891	-
8200	本期淨利（損）	4,027	2	(4,431)	(2)	4,652	1	565	-
	其他綜合損益								
8360	後續可能重分類至損益之項目								
8361	國外營運機構財務報表換算之兌換差額（附註十八）	(46,683)	(21)	32,735	15	(97,739)	(17)	(1,736)	-
8362	備供出售金融資產未實現評價損益（附註十八）	(12,007)	(5)	46,478	21	(5,270)	(1)	24,554	4
8399	與可能重分類之項目相關之所得稅（附註十八及二十）	7,936	3	(5,565)	(3)	16,616	3	295	-
8300	本期其他綜合損益（稅後淨額）	(50,754)	(23)	73,648	33	(86,393)	(15)	23,113	4
8500	本期綜合損益總額	($ 46,727)	(21)	$ 69,217	31	($ 81,741)	(14)	$ 23,678	4
	淨利（損）歸屬於：								
8610	本公司業主	$ 4,027	2	($ 4,431)	(2)	$ 4,652	1	$ 565	-
8620	非控制權益	-	-	-	-	-	-	-	-
8600		$ 4,027	2	($ 4,431)	(2)	$ 4,652	1	$ 565	-
	綜合損益總額歸屬於：								
8710	本公司業主	($ 46,727)	(21)	$ 69,217	31	($ 81,741)	(14)	$ 23,678	4
8720	非控制權益	-	-	-	-	-	-	-	-
8700		($ 46,727)	(21)	$ 69,217	31	($ 81,741)	(14)	$ 23,678	4
	每股盈餘（虧損）（附註二一）								
9750	基　本	$ 0.02		($ 0.03)		$ 0.03		$ -	

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

董事長：周邦基　　經理人：初從維　　會計主管：游章渭

凱崴電子股份有限公司及子公司

合併權益變動表

民國 105 年及 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

代碼		歸屬於本公司業主之權益（附註十八）股本	資本公積 發行股票溢價	資本公積 已失效認股權	資本公積 合計	保留盈餘 特別盈餘公積	保留盈餘 待彌補虧損	保留盈餘 合計	其他權益項目 國外營運機構財務報表換算之兌換差額	其他權益項目 備供出售金融資產未實現損益	其他權益項目 合計	總計	非控制權益	權益總額
A1	104 年 1 月 1 日餘額	$ 1,618,959	$ 1,399	$ 19,166	$ 20,565	$ 158,644	($ 69,345)	$ 89,299	$ 82,922	$ 19,407	$ 102,329	$ 1,831,152	$ -	$ 1,831,152
D1	104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日淨利	-	-	-	-	-	565	565	-	-	-	565	-	565
D3	104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日稅後其他綜合損益	-	-	-	-	-	-	-	(1,441)	24,554	23,113	23,113	-	23,113
Z1	104 年 9 月 30 日餘額	$ 1,618,959	$ 1,399	$ 19,166	$ 20,565	$ 158,644	($ 68,780)	$ 89,864	$ 81,481	$ 43,961	$ 125,442	$ 1,854,830	$ -	$ 1,854,830
A1	105 年 1 月 1 日餘額	$ 1,618,959	$ 1,399	$ 19,166	$ 20,565	$ 158,644	($ 64,960)	$ 93,684	$ 56,040	$ 3,229	$ 59,269	$ 1,792,477	$ -	$ 1,792,477
D1	105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日淨利	-	-	-	-	-	4,652	4,652	-	-	-	4,652	-	4,652
D3	105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日稅後其他綜合損益	-	-	-	-	-	-	-	(81,123)	(5,270)	(86,393)	(86,393)	-	(86,393)
Z1	105 年 9 月 30 日餘額	$ 1,618,959	$ 1,399	$ 19,166	$ 20,565	$ 158,644	($ 60,308)	$ 98,336	($ 25,083)	($ 2,041)	($ 27,124)	$ 1,710,736	$ -	$ 1,710,736

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

董事長：周邦基　　經理人：初從維　　會計主管：游章渭

凱崴電子股份有限公司及子公司

合併現金流量表

民國 105 年及 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

代　碼		105年1月1日至9月30日	104年1月1日至9月30日
	營業活動之現金流量		
A10000	稅前淨利	$ 7,412	$ 1,456
A20010	不影響現金流量之收益費損項目		
A20100	折舊費用	48,508	89,512
A20200	攤銷費用	4,392	6,517
A20300	呆帳費用	785	-
A20900	財務成本	11,519	14,311
A21200	利息收入	(1,309)	(360)
A21300	股利收入	(3,383)	(1,490)
A20400	透過損益按公允價值衡量金融資產評價損失（利益）	2,779	(5,770)
A22300	採用權益法認列之關聯企業（利益）損失之份額	(289)	1,269
A22500	處分不動產、廠房及設備損失	1,136	682
A23100	處分投資利益	(598)	(2,060)
A24100	未實現外幣兌換損失	5,769	9,745
A30000	與營業活動相關之資產／負債變動數		
A31110	透過損益按公允價值衡量之金融資產	(57,980)	48,112
A31130	應收票據	(25,152)	17,840
A31150	應收帳款	(17,969)	153,076
A31180	其他應收款	3,528	(12,531)
A31200	存貨	4,626	2,953
A31230	預付款項	261	9,510
A31240	其他流動資產	774	(620)
A32130	應付票據	21	(236)
A32150	應付帳款	4,467	(46,810)
A32180	其他應付款項	13,703	(8,973)
A32230	其他流動負債	134	(5,583)
A33000	營運產生之現金	3,134	270,550
A33300	支付之利息	(11,407)	(14,856)

（接次頁）

（承前頁）

代　碼		105年1月1日 至9月30日	104年1月1日 至9月30日
A33100	收取之利息	$ 1,309	$ 360
A33200	收取之股利	3,383	1,490
A33500	支付之所得稅	(848)	(852)
AAAA	營業活動之淨現金流（出）入	(4,429)	256,692
	投資活動之現金流量		
B00300	取得備供出售金融資產	(104,360)	(45,073)
B00400	處分備供出售金融資產價款	4,446	14,673
B01200	取得以成本衡量之金融資產	-	(78,598)
B01300	處分以成本衡量之金融資產價款	-	96,798
B02000	預付款項增加	(10,429)	(40,443)
B02700	購置不動產、廠房及設備	(72,560)	(17,764)
B02900	預收款項增加	154,973	-
B03800	存出保證金減少	16	-
B07100	其他非流動資產增加	(2,385)	(30,940)
BBBB	投資活動之淨現金流出	(30,299)	(101,347)
	籌資活動之現金流量		
C00100	短期借款增加（減少）	113,244	(159,824)
C00600	應付短期票券增加	30,016	16
C01700	償還長期借款	(33,000)	(11,667)
CCCC	籌資活動之淨現金流入（出）	110,260	(171,475)
DDDD	匯率變動對現金及銀行存款之影響	(23,991)	(55)
EEEE	本期現金及銀行存款增加（減少）數	51,541	(16,185)
E00100	期初現金及銀行存款餘額	135,708	157,657
E00200	期末現金及銀行存款餘額	$ 187,249	$ 141,472

後附之附註係本合併財務報告之一部分。

董事長：周邦基　　經理人：初從維　　會計主管：游章渭

凱崴電子股份有限公司及子公司

合併財務報表附註

民國 105 年及 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

（除另予註明外，金額係以新台幣仟元為單位）

一、公司沿革

凱崴電子股份有限公司（以下簡稱本公司）於 86 年 2 月 27 日奉准設立登記，主要經營電鍍液、乾膜、鑽頭等印刷電路板原材料之設計、製造及加工業務，並自 101 年起拓展商品經銷之業務。本公司發行之普通股股票自 90 年 3 月 29 日起於財團法人中華民國證券櫃檯買賣中心掛牌交易。

本合併財務報告係以本公司之功能性貨幣新台幣表達。

二、通過財務報告之日期及程序

本合併財務報告於 105 年 11 月 9 日經董事會通過。

三、新發布及修訂準則及解釋之適用

(一) 經金管會認可將於 106 年適用之國際財務報導準則（IFRS）、國際會計準則（IAS）、解釋（IFRIC）及解釋公告（SIC）

金融監督管理委員會（以下稱「金管會」）發布金管證審字第 1050026834 號函，認可 106 年適用之 IFRS、IAS、IFRIC 及 SIC（以下稱「IFRSs」）。

新發布／修正／修訂準則及解釋	IASB 發布之生效日(註1)
「2010-2012 週期之年度改善」	2014 年 7 月 1 日（註 2）
「2011-2013 週期之年度改善」	2014 年 7 月 1 日
「2012-2014 週期之年度改善」	2016 年 1 月 1 日（註 3）
IFRS 10、IFRS 12 及 IAS 28 之修正「投資個體：適用合併報表之例外規定」	2016 年 1 月 1 日
IFRS 11 之修正「聯合營運權益之取得」	2016 年 1 月 1 日
IFRS 14「管制遞延帳戶」	2016 年 1 月 1 日

（接次頁）

（承前頁）

新發布／修正／修訂準則及解釋	IASB發布之生效日(註1)
IAS 1 之修正「揭露倡議」	2016 年 1 月 1 日
IAS 16 及 IAS 38 之修正「可接受之折舊及攤銷方法之闡釋」	2016 年 1 月 1 日
IAS 16 及 IAS 41 之修正「農業：生產性植物」	2016 年 1 月 1 日
IAS 19 之修正「確定福利計畫：員工提撥金」	2014 年 7 月 1 日
IAS 36 之修正「非金融資產可回收金額之揭露」	2014 年 1 月 1 日
IAS 39 之修正「衍生工具之約務更替與避險會計之持續適用」	2014 年 1 月 1 日
IFRIC 21「公課」	2014 年 1 月 1 日

註 1：除另註明外，上述新發布／修正／修訂準則或解釋係於各該日期以後開始之年度期間生效。

註 2：給與日於 2014 年 7 月 1 日以後之股份基礎給付交易開始適用 IFRS 2 之修正；收購日於 2014 年 7 月 1 日以後之企業合併開始適用 IFRS 3 之修正；IFRS 13 於修正時即生效。其餘修正係適用於 2014 年 7 月 1 日以後開始之年度期間。

註 3：除 IFRS 5 之修正推延適用於 2016 年 1 月 1 日以後開始之年度期間外，其餘修正係追溯適用於 2016 年 1 月 1 日以後開始之年度期間。

除下列說明外，適用上述 106 年適用之 IFRSs 規定將不致造成合併公司會計政策之重大變動：

1. IAS 36 之修正「非金融資產可回收金額之揭露」

IAS 36 之修正係釐清合併公司僅須於認列或迴轉資產或現金產生單位減損損失當期揭露其可回收金額。此外，已認列或迴轉減損之可回收金額若以公允價值減處分成本衡量，合併公司將揭露公允價值層級，對屬第 2 或 3 等級公允價值衡量，並將額外揭露衡量公允價值之評價技術及每一關鍵假設。若以現值法衡量公允價值減處分成本，須增加揭露所採用之折現率。前述修正將於 106 年追溯適用。

2. IAS 16 之修正「可接受之折舊及攤銷方法之闡釋」

企業應採用適當之折舊及攤銷方法以反映其消耗該不動產、廠房及設備與無形資產未來經濟效益之預期型態。

IAS 16「不動產、廠房及設備」之修正規定，收入並非衡量不動產、廠房及設備折舊費用之適當基礎，且該修正並未提供得以收入為基礎提列折舊費用之例外規定。

上述修正於生效日以後開始之年度期間推延適用，並允許提前適用。

除上述影響外，截至本合併財務報告通過發布日止，合併公司仍持續評估 106 年適用 IFRSs 修正規定對各期間財務狀況與財務績效之影響，相關影響待評估完成時予以揭露。

(二) 國際會計準則理事會（IASB）已發布但尚未經金管會認可之 IFRSs

合併公司未適用下列業經 IASB 發布但未經金管會認可之 IFRSs。截至本合併財務報告通過發布日止，除 IFRS 15 應自 107 年度開始適用外，金管會尚未發布其他準則生效日。

新發布／修正／修訂準則及解釋	IASB 發布之生效日(註1)
IFRS 2 之修正「股份基礎給付交易之分類與衡量」	2018 年 1 月 1 日
IFRS 4 之修正「適用 IFRS 9『金融工具』及 IFRS 4『保險合約』」	2018 年 1 月 1 日
IFRS 9「金融工具」	2018 年 1 月 1 日
IFRS 9 及 IFRS 7 之修正「強制生效日及過渡揭露」	2018 年 1 月 1 日
IFRS 10 及 IAS 28 之修正「投資者與其關聯企業或合資間之資產出售或投入」	未　定
IFRS 15「客戶合約之收入」	2018 年 1 月 1 日
IFRS 15 之修正「IFRS 15 之闡釋」	2018 年 1 月 1 日
IFRS 16「租賃」	2019 年 1 月 1 日
IAS 7 之修正「揭露倡議」	2017 年 1 月 1 日
IAS 12 之修正「未實現損失之遞延所得稅資產之認列」	2017 年 1 月 1 日

註 1：除另註明外，上述新發布／修正／修訂準則或解釋係於各該日期以後開始之年度期間生效。

1. IFRS 9「金融工具」

金融資產之認列及衡量

就金融資產方面，所有原屬於IAS 39「金融工具：認列與衡量」範圍內之金融資產後續衡量係以攤銷後成本衡量或以公允價值衡量。IFRS 9對金融資產之分類規定如下。

合併公司投資之債務工具，若其合約現金流量完全為支付本金及流通在外本金金額之利息，分類及衡量如下：

(1) 以收取合約現金流量為目的之經營模式而持有該金融資產，則該金融資產係以攤銷後成本衡量。此類金融資產後續係按有效利率認列利息收入於損益，並持續評估減損，減損損益認列於損益。

(2) 藉由收取合約現金流量與出售金融資產而達成目的之經營模式而持有該金融資產，則該金融資產係以透過其他綜合損益按公允價值衡量。此類金融資產後續係按有效利率認列利息收入於損益，並持續評估減損，減損損益與兌換損益亦認列於損益，其他公允價值變動則認列於其他綜合損益。於該金融資產除列或重分類時，原先累積於其他綜合損益之公允價值變動應重分類至損益。

合併公司投資非屬前述條件之金融資產，係以公允價值衡量，公允價值變動認列於損益。惟合併公司得選擇於原始認列時，將非持有供交易之權益投資指定為透過其他綜合損益按公允價值衡量。此類金融資產除股利收益認列於損益外，其他相關利益及損失係認列於其他綜合損益，後續無須評估減損，累積於其他綜合損益之公允價值變動亦不重分類至損益。

金融資產之減損

IFRS 9改採用「預期信用損失模式」認列金融資產之減損。以攤銷後成本衡量之金融資產、強制透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產、應收租賃款、IFRS 15「客戶合約之收入」產生之合約資產或放款承諾及財務保證合約，係認列備抵信用損失。若前述金融資產之信用風險自原始認列後並未顯著增

加，則其備抵信用損失係按未來12個月之預期信用損失衡量。若前述金融資產之信用風險自原始認列後已顯著增加且非低信用風險，則其備抵信用損失係按剩餘存續期間之預期信用損失衡量。但未包括重大財務組成部分之應收帳款必須按存續期間之預期信用損失衡量備抵信用損失。

此外，原始認列時已有信用減損之金融資產，合併公司考量原始認列時之預期信用損失以計算信用調整後之有效利率，後續備抵信用損失則按後續預期信用損失累積變動數衡量。

2. IFRS 15「客戶合約之收入」及相關修正

IFRS 15係規範來自客戶合約之收入認列原則，該準則將取代IAS 18「收入」、IAS 11「建造合約」及相關解釋。

合併公司於適用IFRS 15時，係以下列步驟認列收入：

(1) 辨認客戶合約；

(2) 辨認合約中之履約義務；

(3) 決定交易價格；

(4) 將交易價格分攤至合約中之履約義務；及

(5) 於滿足履約義務時認列收入。

於辨認履約義務時，IFRS 15及相關修正規定，若商品或勞務能被區分（例如，經常單獨銷售某一商品或勞務），且移轉商品或勞務之承諾依合約之內涵係可區分（亦即，合約承諾之性質係為個別移轉每一商品或勞務，而非移轉組合產出），則該商品或勞務係可區分。

IFRS 15及相關修正生效時，合併公司得選擇追溯適用至比較期間或將首次適用之累積影響數認列於首次適用日。

除上述影響外，截至本合併財務報告通過發布日止，合併公司仍持續評估其他準則、解釋之修正對財務狀況與財務績效之影響，相關影響待評估完成時予以揭露。

四、重大會計政策之彙總說明

(一) 遵循聲明

本合併財務報告係依照證券發行人財務報告編製準則及經金管會認可之 IAS 34「期中財務報導」編製。本合併財務報告並未包含整份年度財務報告所規定之所有 IFRSs 揭露資訊。

(二) 合併基礎

子公司明細、持股比例及營業項目，參閱附註十二及附表四。

(三) 其他重大會計政策

除下列說明外，請參閱 104 年度合併財務報告之重大會計政策彙總說明。

1. 確定福利退職後福利

期中期間之退休金成本係採用前一年度結束日依精算決定之退休金成本率，以年初至當期末為基礎計算，並針對本期之重大市場波動，及重大計畫修正、清償或其他重大一次性事項加以調整。

2. 所得稅

所得稅費用係當期所得稅及遞延所得稅之總和。期中期間之所得稅係以年度為基礎進行評估，以預期年度總盈餘所適用之稅率，就期中稅前利益予以計算。

五、重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源

除下列說明外，本合併財務報告採用之重大會計判斷、估計及假設不確定性主要來源請參閱 104 年度合併財務報告。

不動產、廠房及設備之殘值

如 104 年度合併財務報告附註四(八)所述，合併公司於每一資產負債表日檢視不動產、廠房及設備之殘值。昆山滬崴及昆山威興原設址於中國江蘇省昆山市花橋鎮花安路 1999 號，因配合當地政府動遷要求，取得動遷補償款人民幣 152,206 仟元（說明詳附註二八），其中不可搬遷物之動遷補償款人民幣 124,555 仟元高於不可搬遷物之帳面價值人民幣 71,100 仟元，因是擬依國際會計準則第 16 號「不動產、廠房及設備」及第 8 號「會計政策、會計估計變動及錯誤」之規定，自 105

年1月1日起變更不可搬遷物殘值之估計，此一估計變動預計將使105年度之折舊費用減少計人民幣4,447仟元。

六、現金及銀行存款

	105年9月30日	104年12月31日	104年9月30日
庫存現金	$ 2,481	$ 665	$ 2,071
銀行支票及活期存款	184,768	135,043	139,401
	$ 187,249	$ 135,708	$ 141,472

七、透過損益按公允價值衡量之金融工具

	105年9月30日	104年12月31日	104年9月30日
金融資產－流動			
衍生性工具			
遠期外匯合約	$ 544	$ -	$ -
非衍生性金融資產			
國內上市櫃股票	40,418	30,410	1,569
國外上市櫃股票	44,501	-	7,647
	$ 85,463	$ 30,410	$ 9,216
金融負債－流動			
衍生性工具			
遠期外匯合約	$ -	$ 404	$ 946

合併公司105及104年1月1日至9月30日從事遠期外匯衍生性金融商品交易之目的，主要係為規避外幣資產因匯率波動所產生之風險。

於資產負債表日尚未到期之遠期外匯合約如下：

	幣別	到期期間	合約金額（仟元）
105年9月底			
賣出遠期外匯	美元兌新台幣	105.10.6~106.2.7	USD 700
104年12月底			
賣出遠期外匯	美元兌新台幣	105.1.7~105.5.6	USD 575
104年9月底			
賣出遠期外匯	美元兌新台幣	104.10.6~105.2.4	USD 505

八、備供出售金融資產－流動

	105年9月30日	104年12月31日	104年9月30日
國內上櫃及興櫃股票	$ 222,121	$ 127,377	$ 183,829

備供出售金融資產公允價值之決定，請參閱附註二四。

九、應收票據、應收帳款及其他應收款－淨額

	105年9月30日	104年12月31日	104年9月30日
應收票據			
因營業而發生	$ 38,693	$ 13,726	$ 33,837
減：備抵呆帳	(666)	(717)	(734)
	$ 38,027	$ 13,009	$ 33,103
應收帳款			
因營業而發生	$ 597,793	$ 617,323	$ 652,497
減：備抵呆帳	(155,387)	(164,551)	(166,302)
	$ 442,406	$ 452,772	$ 486,195
其他應收款			
其　　他	$ 52,270	$ 38,587	$ 43,752

應收票據及帳款

合併公司對商品銷售之平均授信期間為 120～180 天。於決定應收帳款可回收性時，合併公司考量應收帳款自原始授信日至資產負債表日信用品質之任何改變。由於歷史經驗顯示逾期超過 360 天之應收帳款無法回收，合併公司對於帳齡超過 360 天之應收帳款認列 100%備抵呆帳，對於帳齡在 180 天至 360 天之間之應收帳款，其備抵呆帳係參考交易對方過去拖欠記錄及分析其目前財務狀況，以估計無法回收之金額。

於 105 年 9 月 30 日暨 104 年 12 月 31 日及 9 月 30 日之應收帳款餘額中，顯著集中於重要客戶而存在之信用風險，請參閱附註二四。

於資產負債表日已逾期但合併公司尚未認列備抵呆帳之應收帳款，因其信用品質並未重大改變，合併公司管理階層認為仍可回收其金額，合併公司對該等應收帳款亦維持相關信用增強保障。

已逾期但未減損應收帳款之帳齡分析如下：

	105年9月30日	104年12月31日	104年9月30日
90天以下	$ -	$ -	$ -
91至180天	3,569	2,638	3,926
181至270天	299	104	12,802
270天以上	5,936	15,713	5,140
合　計	$ 9,804	$ 18,455	$ 21,868

以上係以立帳日為基準進行之帳齡分析，於105年9月30日暨104年12月31日及9月30日之已逾期270天以上之應收帳款中分別約有4,671仟元、5,028仟元及5,140仟元係屬代銷協議產生之款項，是項帳款已於102年9月取得進貨廠商同意於款項收回前始支付之協議。

應收帳款之備抵呆帳變動資訊如下：

	個別評估減損損失	群組評估減損損失	合計
104年1月1日餘額	$ 163,526	$ 3,653	$ 167,179
外幣換算差額	(430)	287	(143)
104年9月30日餘額	$ 163,096	$ 3,940	$ 167,036
105年1月1日餘額	$ 160,113	$ 5,155	$ 165,268
本期提列（迴轉）減損損失	(1,568)	2,353	785
外幣換算差額	(9,540)	(460)	(10,000)
105年9月30日餘額	$ 149,005	$ 7,048	$ 156,053

截至105年9月30日暨104年12月31日及9月30日止，備抵呆帳金額其中包括處於重大財務困難之個別已減損應收帳款，其金額分別為149,005仟元、160,113仟元及163,096仟元，主係於97年提列。所認列之減損損失為應收帳款帳面金額與預期清算回收金額現值之差額。合併公司對該等應收帳款餘額並未持有任何擔保品。

十、存貨－淨額

	105年9月30日	104年12月31日	104年9月30日
原　料	$ 11,457	$ 9,767	$ 11,212
物　料	22,369	26,363	29,037
在製品	173,259	185,181	190,249
製成品	278,882	274,505	303,855
在途商品	3,052	2,089	-
	$ 489,019	$ 497,905	$ 534,353

105年9月30日暨104年12月31日及9月30日之備抵存貨跌價損失分別為15,340仟元、16,193仟元及16,459仟元。

105年及104年7月1日至9月30日與105年及104年1月1日至9月30日與存貨相關之銷貨成本分別為178,888仟元、203,779仟元、478,662仟元及598,220仟元。

十一、以成本衡量之金融資產－非流動

	105年9月30日		104年12月31日		104年9月30日	
	金　額	持股%	金　額	持股%	金　額	持股%
國內未上市（櫃）普通股						
漢宇創業投資股份有限公司	$15,923	4.44	$15,923	4.44	$15,923	4.44
國外未上市（櫃）普通股						
Concord Venture Capital Group Limited	22,800	13.57	22,800	13.57	22,800	13.57
Ultimate Access International Fund IX	31,074	-	31,074	-	31,074	-
	$69,797		$69,797		$69,797	

合併公司所持有之上述未上市（櫃）股票投資，於資產負債表日係按成本減除減損損失衡量，因其公允價值合理估計數之區間重大且無法合理評估各種估計之機率，致合併公司管理階層認為其公允價值無法可靠衡量。

合併公司於104年3月底出售帳面金額94,867仟元之以成本衡量之金融資產，並認列處分利益1,931仟元。

	105年9月30日	104年12月31日	104年9月30日
依金融資產衡量種類區分			
備供出售金融資產	$ 69,797	$ 69,797	$ 69,797

十二、子公司

列入合併財務報告之子公司

本合併財務報告編製主體如下：

投資公司名稱	子公司名稱	業務性質	所持股權百分比 105年9月30日	104年12月31日	104年9月30日
本公司	Key Ware International Limited	一般投資	100%	100%	100%
本公司	慧朋科技股份有限公司	電子零組件、機械設備	99.99%	99.99%	99.99%
Key Ware International Limited	Advisor Move Investments Limited	一般投資	100%	100%	100%
Key Ware International Limited	Module System International Limited	一般投資	100%	100%	100%
Advisor Move Investments Limited	昆山滬崴電子有限公司	鑽孔工具、手工用具	100%	100%	100%
Module System International Limited	昆山威興電子有限公司	鑽孔工具、手工用具	100%	100%	100%
昆山滬崴電子有限公司	昆山鐳崴光電科技有限公司	鐳射鑽孔代工	100%	100%	100%

本公司為從事多角化經營及增加營業外收益，於104年3月24日經董事會核准以人民幣2,000仟元投資昆山鐳崴光電科技有限公司。

慧朋科技股份有限公司係非重要子公司，其財務報告未經會計師核閱。

十三、採用權益法之投資

合併公司之關聯企業列示如下：

被投資公司	105年9月30日 金額	持股%	104年12月31日 金額	持股%	104年9月30日 金額	持股%
不具重大性之關聯企業						
榮沛科技股份有限公司	$ 6,019	22.73	$ 5,730	22.73	$ 5,458	22.73

採用權益法之投資及合併公司對其享有之損益及其他綜合損益份額，係按被投資公司同期間未經會計師核閱之財務報表計算；惟合併公司管理階層認為上述被投資公司財務報告未經會計師核閱，尚不致產生重大影響。

十四、不動產、廠房及設備－淨額

	105年9月30日	104年12月31日	104年9月30日
每一類別之帳面金額			
自有土地	$ 113,167	$ 113,167	$ 113,167
房屋及建築	476,425	442,364	455,647
機器設備	431,635	491,587	506,841
運輸設備	1,222	1,549	1,656
辦公設備	2,207	2,237	2,299
其他設備	10,088	11,659	12,211
	$ 1,034,744	$ 1,062,563	$ 1,091,821

昆山滬崴購買鐳射鑽頭事業部所需之機器設備計日幣 342,000 仟元，係由本公司墊付日幣 171,000 仟元及委託銀行開立信用狀計日幣 171,000 仟元，上述款項已分別於 104 年 10 月及 105 年 5 月付訖。

不動產、廠房及設備係以直線基礎按下列耐用年數計提折舊：

房屋及建築	20至50年
機器設備	2至13年
運輸設備	3至5年
辦公設備	3至8年
其他設備	3至20年

合併公司設定質押作為借款擔保之不動產、廠房及設備金額，請參閱附註二六。

十五、預付租賃款

於合併資產負債表分別列為：

	105年9月30日	104年12月31日	104年9月30日
流　動	$ 1,389	$ 1,495	$ 1,528
非流動	81,619	88,977	91,334
	$ 83,008	$ 90,472	$ 92,862

係昆山滬崴及昆山威興分別取得之土地使用權，除認列攤銷費用外，合併公司之預付租賃款於 105 年及 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日並未發生重大支付或收回情形。

十六、借　　款

(一) 短期借款

	105年9月30日	104年12月31日	104年9月30日
無擔保借款			
信用額度借款	$ 492,736	$ 382,000	$ 408,711

銀行週轉性借款之利率於 105 年 9 月 30 日暨 104 年 12 月 31 日及 9 月 30 日如下：

	105年9月30日	104年12月31日	104年9月30日
美　　金	-	3.80%	2.94%
台　　幣	1.88%～2.37%	1.96%～2.50%	2.22%-2.78%
日　　幣	0.98%～1.33%	1.06%～1.46%	1.08%-1.99%

(二) 應付短期票券

	105年9月30日	104年12月31日	104年9月30日
應付商業本票	$ 55,000	$ 25,000	$ 25,000
減：應付短期票券折價	16	32	7
	$ 54,984	$ 24,968	$ 24,993

尚未到期之應付短期票券如下：

105 年 9 月 30 日

保證／承兌機構	票面金額	折價金額	帳面金額	利率區間	擔保品名稱	擔保品帳面金額
應付商業本票						
兆豐票券	$ 25,000	$ 5	$ 24,995	1.45%	-	$ -
國際票券	20,000	6	19,994	0.52%	-	-
台灣票券	10,000	5	9,995	0.85%	-	-
	$ 55,000	$ 16	$ 54,984			$ -

104 年 12 月 31 日

保證／承兌機構	票面金額	折價金額	帳面金額	利率區間	擔保品名稱	擔保品帳面金額
應付商業本票						
兆豐票券	$ 25,000	$ 32	$ 24,968	1.80%	-	$ -

104 年 9 月 30 日

保證／承兌機構	票面金額	折價金額	帳面金額	利率區間	擔保品名稱	擔保品帳面金額
應付商業本票						
兆豐票券	$ 25,000	$ 7	$ 24,993	1.80%	-	$ -

(三) 長期借款

	105年9月30日	104年12月31日	104年9月30日
擔保借款			
銀行借款	$ 243,000	$ 276,000	$ 276,000
減：列為 1 年內到期部分	(44,000)	(44,000)	(33,000)
	$ 199,000	$ 232,000	$ 243,000

本公司為營運週轉及償還已到期之可轉換公司債，於 103 年度申請不動產擔保借款 276,000 仟元之額度，於 105 年 2 月起每季償還本金 11,000 仟元，並於 108 年 11 月到期，截至 105 年 9 月 30 日暨 104 年 12 月 31 日及 9 月 30 日止，有效年利率分別為 2.20%、2.43% 及 2.50%。

十七、退職後福利計畫

(一) 確定提撥計畫－台灣

本公司所適用「勞工退休金條例」之退休金制度，係屬政府管理之確定提撥退休計畫，依員工每月薪資 6%提撥退休金至勞工保險局之個人專戶。

本公司於 105 年及 104 年 7 月 1 日至 9 月 30 日以及 105 年及 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日依照確定提撥計畫中明定比例應提撥之金額已於合併綜合損益表認列費用總額分別為 851 仟元、820 仟元、2,515 仟元及 2,549 仟元。

(二) 確定提撥計畫－大陸

合併公司於大陸之子公司之員工，按中華人民共和國政府規定之養老保險制度，每月依員工薪資總額之一定比例提撥養老保險金（帳列員工保險費用），其提撥比率為 18%，專戶儲蓄於各員工獨立帳戶。每月員工之退休金由政府管理統籌安排，大陸子公司除按月提撥外並無其他義務。

合併公司於大陸之子公司於105年及104年7月1日至9月30日以及105年及104年1月1日至9月30日依照確定提撥計畫中明定比例應提撥之金額已於合併綜合損益表認列為費用總額分別為416仟元、824仟元、1,677仟元及2,550仟元。

(三) 確定福利計畫

105年及104年7月1日至9月30日以及105年及104年1月1日至9月30日認列之確定福利計畫相關退休金費用，係以104年及103年12月31日精算決定之退休金成本率在各期間分別認列於下列項目：

	105年7月1日 至9月30日	104年7月1日 至9月30日	105年1月1日 至9月30日	104年1月1日 至9月30日
營業費用－管理費用	$ 241	$ 260	$ 721	$ 780

十八、權　　益

(一) 普通股股本

	105年9月30日	104年12月31日	104年9月30日
額定股本	$ 2,000,000	$ 2,000,000	$ 2,000,000
額定股數（仟股）	200,000	200,000	200,000
已發行股本	$ 1,618,959	$ 1,618,959	$ 1,618,959
已發行股數（仟股）	161,896	161,896	161,896

已發行之普通股每股面額為10元，每股享有一表決權及收取股利之權利。

(二) 資本公積

	105年9月30日	104年12月31日	104年9月30日
得用以彌補虧損、發放現金或撥充股本（註1）			
股票發行溢價	$ 1,399	$ 1,399	$ 1,399
僅得用以彌補虧損（註2）			
可轉換公司債之失效認股權	19,166	19,166	19,166
	$ 20,565	$ 20,565	$ 20,565

註 1： 此類資本公積得用以彌補虧損，亦得於公司無虧損時，用以發放現金或撥充股本，惟撥充股本時每年以實收股本之一定比率為限。

註 2： 此類資本公積係因公司債到期清償，將該轉換權視為失效未行使，尚不得發放現金或撥充股本。

(三) 保留盈餘及股利政策

依 104 年 5 月公司法之修正，股息及紅利之分派限於股東，員工非屬盈餘分派之對象。本公司已於 105 年 6 月 28 日股東常會決議通過修正章程之盈餘分派政策，並於章程中另外訂定員工酬勞之分派政策。

修正後章程之盈餘分派政策規定，本公司年度決算如有盈餘，依法繳納稅捐，彌補累積虧損後，再提 10%為法定盈餘公積，其餘再依法令規定提列或迴轉特別盈餘公積；如尚有餘額，併同累積未分配盈餘，由董事會擬具盈餘分配議案，提請股東會決議分派股東股息紅利。修正前後章程之員工及董監事酬勞分派政策，參閱附註十九。

由於本公司業務正值成長期，分配股利之政策，需視公司目前及未來之投資環境、資金需求、國內外競爭狀況及資本預算等因素，兼顧股東權益、平衡股利及公司長期財務規劃等，每年依法由董事會擬具分配案，提報股東會。當年度股東股利之發放，現金股利之分派比例不低於分派股利總額之 10%。

法定盈餘公積應提撥至其餘額達公司實收股本總額時為止。法定盈餘公積得用以彌補虧損。公司無虧損時，法定盈餘公積超過實收股本總額 25%之部分除得撥充股本外，尚得以現金分配。

本公司依金管證發字第 1010012865 號函、金管證發字第 1010047490 號函、金管證發字第 1030006415 號及「採用國際財務報導準則（IFRSs）後，提列特別盈餘公積之適用疑義問答」等規定提列及迴轉特別盈餘公積。

分配未分配盈餘時，除屬非中華民國境內居住者之股東外，其餘股東可獲配按股利分配日之稅額扣抵比率計算之股東可扣抵稅額。

本公司分別於 105 年 6 月 28 日及 104 年 6 月 17 日舉行股東常會，決議通過 104 及 103 年度盈虧撥補案，因 104 及 103 年底係待彌補虧損，故不予分派股利。

(四) 特別盈餘公積

本公司於首次採用 IFRSs 時，帳列累積換算調整數轉入保留盈餘之金額為 158,644 仟元，已予以提列相同數額之特別盈餘公積。

(五) 其他權益項目

1. 國外營運機構財務報表換算之兌換差額

	105年1月1日 至9月30日	104年1月1日 至9月30日
期初餘額	$ 56,040	$ 82,922
國外營運機構財務報表換算之兌換差額	(97,739)	(1,736)
國外營運機構財務報表換算兌換差額之相關所得稅	16,616	295
期末餘額	($ 25,083)	$ 81,481

2. 備供出售金融資產未實現損益

	105年1月1日 至9月30日	104年1月1日 至9月30日
期初餘額	$ 3,229	$ 19,407
備供出售金融資產未實現損益	(5,170)	26,863
處分備供出售金融資產權益重分類至損益	(100)	(2,309)
期末餘額	($ 2,041)	$ 43,961

十九、繼續營業單位淨利

繼續營業單位淨利係包含以下項目：

(一) 其他收入

	105年7月1日 至9月30日	104年7月1日 至9月30日	105年1月1日 至9月30日	104年1月1日 至9月30日
租金收入	$ -	$ -	$ -	$ 131
利息收入	193	235	1,309	360
股利收入	2,906	-	3,383	1,490
	$ 3,099	$ 235	$ 4,692	$ 1,981

(二) 其他利益及損失

	105年7月1日 至9月30日	104年7月1日 至9月30日	105年1月1日 至9月30日	104年1月1日 至9月30日
透過損益按公允價值衡量之金融資產淨利益（損失）	($ 2,013)	($ 7,496)	($ 2,281)	$ 3,590
處分備供出售金融資產利益	29	1,921	100	2,309
處分以成本衡量之金融資產利益	-	-	-	1,931
處分不動產、廠房及設備損失	(1,136)	(5)	(1,136)	(682)
淨外幣兌換損益	(5,766)	5,734	(9,018)	1,673
其　　他	1,303	303	1,681	(280)
	($ 7,583)	$ 457	($ 10,654)	$ 8,541

透過損益按公允價值衡量之金融資產淨損益包括公允價值變動之利益（損失）於105年及104年7月1日至9月30日與105年及104年1月1日至9月30日分別為(1,605)仟元、(1,826)仟元、(2,779)仟元及5,770仟元。

淨外幣兌換損益包括匯率變動之未實現外幣兌換損失於105年及104年7月1日至9月30日與105年及104年1月1日至9月30日分別為3,713仟元、2,669仟元、5,769仟元及9,745仟元。

(三) 財務成本

	105年7月1日 至9月30日	104年7月1日 至9月30日	105年1月1日 至9月30日	104年1月1日 至9月30日
銀行借款利息	$ 4,044	$ 4,470	$ 11,519	$ 14,311

(四) 用人及折舊費用

	105年7月1日至9月30日			104年7月1日至9月30日		
	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計
用人費用						
薪資費用	$ 26,121	$ 5,664	$ 31,785	$ 23,966	$ 4,842	$ 28,808
員工保險費用	1,959	449	2,408	2,395	420	2,815
退休金費用	583	509	1,092	589	491	1,080
其他用人費用	1,749	854	2,603	1,505	724	2,229
折舊費用	14,878	444	15,322	25,220	1,159	26,379
攤銷費用	1,013	409	1,422	1,674	511	2,185

	105年1月1日至9月30日			104年1月1日至9月30日		
	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合計
用人費用						
薪資費用	$ 74,027	$ 17,582	$ 91,609	$ 74,140	$ 15,510	$ 89,650
員工保險費用	6,216	1,380	7,596	7,493	1,212	8,705
退休金費用	1,702	1,534	3,236	1,899	1,430	3,329
其他用人費用	4,759	2,540	7,299	4,468	1,908	6,376
折舊費用	47,092	1,416	48,508	86,645	2,745	89,390
攤銷費用	3,109	1,283	4,392	5,032	1,485	6,517

104年7月1日至9月30日與104年1月1日至9月30日出租設備（帳列機器設備）之折舊費用分別為0仟元及122仟元，帳列什項支出。

依104年5月修正後公司法及105年6月經股東會決議之修正章程，本公司係以當年度扣除分派員工及董監酬勞前之稅前利益提撥員工紅利1%到10%，董監事酬勞不高於1%。惟截至105年9月底止，因係待彌補虧損，故未予估列員工紅利。

修正前之章程係規定以稅後淨利（已扣除員工分紅及董監事酬勞之金額）計算，其中提撥員工紅利1%到10%，董監事酬勞不高於1%，惟截至104年9月底止，本公司仍係待彌補虧損，故未予估列。

年度合併財務報告通過發布日後若金額仍有變動，則依會計估計變動處理，於次一年度調整入帳。

有關本公司105年董事會決議之員工酬勞及董監事酬勞資訊，及104年股東會決議之員工紅利及董監事酬勞資訊，請至臺灣證券交易所之「公開資訊觀測站」查詢。

二十、繼續營業單位所得稅

(一) 認列於損益之所得稅

所得稅費用（利益）之主要組成項目如下：

	105年7月1日 至9月30日	104年7月1日 至9月30日	105年1月1日 至9月30日	104年1月1日 至9月30日
當期所得稅				
本期產生者	$ -	($ 298)	$ -	$ 67
以前年度之調整	-	-	-	8
	-	(298)	-	75
遞延所得稅				
本期產生者	(2,086)	237	(1,260)	816
以前年度之調整	4,020	-	4,020	-
	1,934	237	2,760	816
認列於損益之所得稅費用（利益）	$ 1,934	($ 61)	$ 2,760	$ 891

(二) 認列於其他綜合損益之所得稅

	105年7月1日 至9月30日	104年7月1日 至9月30日	105年1月1日 至9月30日	104年1月1日 至9月30日
遞延所得稅				
本期產生者				
國外營運機構財務報表換算之兌換差額	$ 7,936	($ 5,565)	$ 16,616	$ 295

(三) 本公司及子公司稅率相關資訊如下：

	105年1月1日 至9月30日	104年1月1日 至9月30日
本公司	17%	17%
慧朋科技	17%	17%
昆山滬崴	25%	25%
昆山威興	25%	25%
昆山鐳崴	25%	25%

(四) 兩稅合一相關資訊

	105年9月30日	104年12月31日	104年9月30日
可扣抵稅額	$ 12,468	$ 11,620	$ 11,301

本公司截至105年9月30日止為待彌補虧損，故無盈餘可供分配，因是股東可扣抵稅額帳戶餘額將留待以後盈餘分配時配予股東。

(五) 所得稅核定情形

本公司截至 103 年度之所得稅申報案件業經稽徵機關核定。

二一、每股盈餘（虧損）

	105年7月1日 至9月30日	104年7月1日 至9月30日	105年1月1日 至9月30日	104年1月1日 至9月30日
基本每股盈餘（虧損）	$ 0.02	($ 0.03)	$ 0.03	$ -

用以計算每股盈餘（虧損）之分子及分母揭露如下：

	本期淨利（損）（分子）	股數（分母）（仟股）	每股淨利（損）（元）
105 年 7 月 1 日至 9 月 30 日			
歸屬於本公司業主之淨利	$ 4,027	161,896	$ 0.02
104 年 7 月 1 日至 9 月 30 日			
歸屬於本公司業主之淨損	($ 4,431)	161,896	($ 0.03)
105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日			
歸屬於本公司業主之淨利	$ 4,652	161,896	$ 0.03
104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日			
歸屬於本公司業主之淨利	$ 565	161,896	$ -

二二、營業租賃協議

合併公司為承租人

營業租賃係承租小客車及員工宿舍，租期至 107 年 3 月前陸續到期。

截至 105 年 9 月 30 日暨 104 年 12 月 31 日及 9 月 30 日止，合併公司因營業租賃合約所支付之存出保證金（帳列存出保證金）分別為 1,371 仟元、1,424 仟元及 1,411 仟元。

不可取消營業租賃之未來最低租賃給付如下：

	105年9月30日	104年12月31日	104年9月30日
1 年內	$ 1,219	$ 1,389	$ 1,296
超過 1 年但不超過 5 年	438	1,070	1,163
	$ 1,657	$ 2,459	$ 2,459

二三、資本風險管理

合併公司進行資本管理以確保集團內各企業能夠於繼續經營之前提下，藉由將債務及權益餘額最適化，以使股東報酬極大化。合併公司資本結構係由合併公司之歸屬於本公司業主之權益（即股本、資本公積、保留盈餘及其他權益項目）組成。

合併公司主要管理階層每季重新檢視集團資本結構，其檢視內容包括考量各類資本之成本及相關風險。合併公司依據主要管理階層之建議，將藉由支付股利、發行新股、買回股份及發行新債或償付舊債等方式平衡其整體資本結構。

二四、金融工具

(一) 公允價值之資訊－以重複性基礎按公允價值衡量之金融工具

1. 公允價值層級

105 年 9 月 30 日

	第 1 等級	第 2 等級	第 3 等級	合計
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
衍生工具	$ -	$ 544	$ -	$ 544
持有供交易之非衍生性金融資產	84,919	-	-	84,919
備供出售金融資產				
國內上(興)櫃有價證券	222,121	-	-	222,121
	$ 307,040	$ 544	$ -	$ 307,584

104 年 12 月 31 日

	第 1 等級	第 2 等級	第 3 等級	合計
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
持有供交易之非衍生性金融資產	$ 30,410	$ -	$ -	$ 30,410
備供出售金融資產				
國內上櫃有價證券	127,377	-	-	127,377
	$ 157,787	$ -	$ -	$ 157,787
透過損益按公允價值衡量之金融負債				
衍生工具	$ -	$ 404	$ -	$ 404

104 年 9 月 30 日

	第 1 等級	第 2 等級	第 3 等級	合計
透過損益按公允價值衡量之金融資產				
持有供交易之非衍生性金融資產	$ 9,216	$ -	$ -	$ 9,216
備供出售金融資產				
國內上櫃有價證券	183,829	-	-	183,829
	$ 193,045	$ -	$ -	$ 193,045
透過損益按公允價值衡量之金融負債				
衍生工具	$ -	$ 946	$ -	$ 946

105 年及 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日無第 1 等級與第 2 等級公允價值衡量間移轉之情形。

2. 第 2 等級公允價值衡量之評價技術及輸入值

金融工具類別	評價技術及輸入值
衍生工具－遠期外匯合約	現金流量折現法：按期末之可觀察遠期匯率及合約所訂匯率估計未來現金流量，並以可反映各交易對方信用風險之折現率分別折現。

(三) 金融工具之種類

	105年9月30日	104年12月31日	104年9月30日
金融資產			
透過損益按公允價值衡量	$ 85,463	$ 30,410	$ 9,216
放款及應收款（註1）	721,919	642,879	707,388
備供出售金融資產（註2）	291,918	197,174	253,626
	$ 1,099,300	$ 870,463	$ 970,230
金融負債			
透過損益按公允價值衡量	$ -	$ 404	$ 946
以攤銷後成本衡量（註3）	949,502	876,098	977,815
	$ 949,502	$ 876,502	$ 978,761

註 1： 餘額係包含現金及銀行存款、應收票據、應收帳款、其他應收款、其他流動資產、存出保證金等以攤銷後成本衡量之放款及應收款。

註 2： 餘額係包含備供出售金融資產及以成本衡量之金融資產。

註 3： 餘額係包含短期借款、應付短期票券、應付票據、應付帳款、部分其他應付款、部分其他流動負債及長期借款等以攤銷後成本衡量之金融負債。

(四) 財務風險管理目的與政策

合併公司財務風險管理目標，係為管理與營運活動相關之匯率風險、信用風險及流動風險。為降低相關財務風險，合併公司致力於辨認、評估並規避市場之不確定性，以降低市場變動對公司財務績效之潛在不利影響。

合併公司之重要財務活動，係經董事會依相關規範及內部控制制度進行覆核。於財務計劃執行期間，合併公司必須恪遵關於整體財務風險管理及權責劃分之相關財務操作程序。

1. 市場風險

合併公司之營運活動使合併公司承擔之主要財務風險為外幣匯率變動風險。

(1) 匯率風險

合併公司於資產負債表日非功能性貨幣計價之貨幣性資產與貨幣性負債帳面金額（包括合併財務報表中已沖銷之非功能性貨幣計價之貨幣性項目），參閱附註二七。

合併公司主要受到美金及日幣匯率波動之影響，因外幣交易而產生重大之資產及負債金額，雖外幣資產及負債因市場匯率變動而產生之損益有互抵效果，惟合併公司外幣資產金額與外幣負債金額顯有差異，因此承受外匯風險。當美金對新台幣升值 3%時，於 105 年及 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之稅前淨利將分別增加 4,420 仟元及 2,455 仟元。當日幣對新台幣升值 3%時，於 105 年及 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之稅前淨利將分別減少 907 仟元及 3,500 仟元。

(2) 利率風險

利率風險係因市場之變動而導致金融工具之公允價值或未來現金流量波動之風險。

合併公司於資產負債表日受利率暴險之金融負債帳面金額如下：

	105年9月30日	104年12月31日	104年9月30日
具現金流量利率風險			
一金融負債	$ 790,720	$ 682,968	$ 709,704

下列敏感度分析係計算浮動利率負債於資產負債表日之利率暴險，其分析方式係假設資產負債表日流通在外之負債金額於整年度皆流通在外。

若利率增加 1%時，在所有其他變數維持不變之情況下，合併公司 105 年及 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之稅前淨利將分別減少 5,930 仟元及 5,323 仟元。

(3) 權益證券價格風險

權益證券之市場風險包含個別權益證券市場價格變動所產生之個別風險，及因整體市場價格變動所產生的一般市場風險。合併公司因權益價格上漲 1%時，105 年及 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之稅前淨利將因透過損益按公允價值衡量之金融資產公允價值之變動分別增加 849 仟元及 92 仟元；105 年及 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之其他綜合損益將因備供出售金融資產公允價值之變動分別增加 2,221 仟元及 1,838 仟元。

2. 信用風險

信用風險係指交易對方拖欠合約義務而造成集團財務損失之風險。截至資產負債表日，合併公司可能因交易對方未履行義務及合併公司提供財務保證造成財務損失之最大信用風險暴險主要係來自於合併資產負債表所認列之金融資產帳面金額。

合併公司採行之政策係僅與信譽卓著之對象進行交易，並於必要情形下取得足額之擔保以減輕因拖欠所產生財務損失之風險。

為減輕信用風險，合併公司於資產負債表日會逐一複核應收款項之可回收金額以確保無法回收之應收款項已提列適當減損損失。據此，本公司管理階層認為合併公司之信用風險已顯著減少。

另因流動資金及衍生金融工具之交易對方係國際信用評等機構給予高信用評等之銀行，故該信用風險不高。

應收帳款之對象涵蓋眾多客戶，分散於不同地理區域。合併公司持續地針對應收帳款客戶之財務狀況、信評機構評等、合併公司內部信用評等、歷史交易紀錄等多項可能影響客戶付款能力之因素進行評估。合併公司亦會使用以預收貨款方式銷貨等措施，以降低特定客戶的信用風險。

截至 105 年 9 月 30 日暨 104 年 12 月 31 日及 9 月 30 日，前十大客戶之應收帳款餘額占合併公司應收帳款餘額之百分比分別為 44%、40%及 37%，其餘應收帳款之信用集中風險相對並不重大。

3. 流動性風險

合併公司係透過管理及維持足夠部位之現金及約當現金以支應集團營運並減輕現金流量波動之影響。合併公司管理階層監督銀行融資額度使用狀況並確保借款合約條款之遵循。

銀行借款對合併公司而言係為一項重要流動性來源。截至 105 年 9 月 30 日暨 104 年 12 月 31 日及 9 月 30 日止，合併公司未動用之短期銀行融資額度分別為 577,936 仟元、548,509 仟元及 663,803 仟元。

<u>流動性及利率風險表</u>

下表詳細說明合併公司已約定還款期間之非衍生金融負債剩餘合約到期分析，其係依據合併公司最早可能被要求還款之

日期，並以金融負債未折現現金流量編製，其包括利息及本金之現金流量。

合併公司之非衍生金融負債到期分析係依照約定之還款日編製。

105 年 9 月 30 日

	1年以下	1至5年	合　　計
非衍生金融負債			
短期借款	$ 492,736	$ -	$ 492,736
短期票券	55,000	-	55,000
應付票據及帳款	107,065	-	107,065
其他應付款	61,565	-	61,565
長期借款	44,000	199,000	243,000

104 年 12 月 31 日

	1年以下	1至5年	合　　計
非衍生金融負債			
短期借款	$ 382,000	$ -	$ 382,000
短期票券	25,000	-	25,000
應付票據及帳款	107,394	-	107,394
其他應付款	94,281	-	94,281
長期借款	44,000	232,000	276,000

104 年 9 月 30 日

	1 年 以 下	1 至 5 年	合　　計
非衍生金融負債			
短期借款	$ 408,711	$ -	$ 408,711
短期票券	25,000	-	25,000
應付票據及帳款	138,067	-	138,067
其他應付款	138,632	-	138,632
長期借款	33,000	243,000	276,000

二五、關係人交易

(一) 背書保證

截至 105 年 9 月 30 日暨 104 年 12 月 31 日及 9 月 30 日止，本公司為關係人背書保證情形如下：

	105年9月30日		104年12月31日		104年9月30日	
關係人類別	總 額 度	動用額度	總 額 度	動用額度	總 額 度	動用額度
子公司	$ 169,344	$ 12,888	$ 177,255	$ 14,380	$ 177,498	$ 10,538

(二) 主要管理階層薪酬

	105年7月1日 至9月30日	104年7月1日 至9月30日	105年1月1日 至9月30日	104年1月1日 至9月30日
短期員工福利	$ 2,599	$ 1,424	$ 7,796	$ 3,931
退職後福利	72	45	215	134
	$ 2,671	$ 1,469	$ 8,011	$ 4,065

二六、質、抵押之資產

下列資產係提供作為合併公司銀行借款及履約保證之擔保品：

	105年9月30日	104年12月31日	104年9月30日
土　地	$ 113,167	$ 113,167	$ 113,167
房屋及建築	137,740	139,914	140,739

二七、具重大影響之外幣金融資產及負債資訊

以下資訊係按合併公司各個體功能性貨幣以外之外幣彙總表達，所揭露之匯率係指該等外幣換算至功能性貨幣之匯率。具重大影響之外幣資產及負債如下：

單位：各外幣／新台幣仟元

	105年9月30日			104年12月31日			104年9月30日		
	外幣	匯率	新台幣	外幣	匯率	新台幣	外幣	匯率	新台幣
金融資產 貨幣性項目									
美金	$ 7,970	31.36	$ 249,939	$ 5,176	32.825	$ 169,903	$ 6,218	32.870	$ 204,396
日幣	41,885	0.311	13,016	212,312	0.273	57,898	203,938	0.274	55,858
金融負債 貨幣性項目									
美金	3,272	31.36	102,610	2,777	32.825	91,156	3,728	32.870	122,550
日幣	139,242	0.311	43,238	477,553	0.273	130,228	629,857	0.274	172,518

合併公司於105年及104年7月1日至9月30日與105年及104年1月1日至9月30日外幣兌換損益（已實現及未實現）請參閱附註十九，由於外幣交易繁多，故無法按各重大影響之外幣別揭露兌換損益。

二八、其　他

昆山滬崴及昆山威興原設址於中國江蘇省昆山市花橋鎮花安路1999號，因上海軌道交通11號線北段工程之需要，並配合當地主管機關花橋經濟開發區規劃建設局動遷要求，由董事會授權董事長依法辦理動遷補償合同簽約事宜。本次動遷補償協議書業已於104年12月11

日由『昆山市花橋鎮動遷辦公室』與昆山滬崴雙方簽訂完成，內容針對昆山滬崴及昆山威興不可搬遷物及停產停業、搬遷等補償，協議書主要條款如下：

(一) 補償金額總計人民幣 152,206 仟元；

(二) 昆山市花橋鎮動遷辦公室應於動遷協議簽訂後三年內支付動遷補償款，第一年內支付人民幣計 50,000 仟元（已於 105 年 1 月及 9 月分別支付 20,000 及 13,000 仟元，帳列預收款項）；第二年內支付人民幣計 70,000 仟元；第三年內支付剩餘動遷補償款計人民幣 32,206 仟元。

(三) 昆山滬崴及昆山威興應於動遷協議簽訂日起算二年內將舊廠房移交予昆山市花橋鎮動遷辦公室。

另昆山滬崴及昆山威興使用中之土地使用權，並不包含於本次動遷補償協議書中，昆山滬崴及昆山威興將依據 101 年 8 月 16 日與昆山市花橋經濟開發區規劃建設局所簽訂動遷框架協議書之精神，並按相關法令規定繼續與花橋經濟開發區規劃建設局協商，爭取取得變性後之地塊使用權。

二九、附註揭露事項

(一) 重大交易事項及(二)轉投資事業相關資訊

1. 資金貸與他人：附表一。
2. 為他人背書保證：附表二。
3. 期末持有有價證券情形：附表三。
4. 累積買進或賣出同一有價證券之金額達新台幣 3 億元或實收資本額 20%以上：無。
5. 取得不動產之金額達新台幣 3 億元或實收資本額 20%以上：無。
6. 處分不動產之金額達新台幣 3 億元或實收資本額 20%以上：無。
7. 與關係人進、銷貨之金額達新台幣 1 億元或實收資本額 20%以上：無。
8. 應收關係人款項達新台幣 1 億元或實收資本額 20%以上：無。
9. 從事衍生工具交易：附註七及二四。
10. 被投資公司名稱、所在地區....等相關資訊：附表四。

(三) 大陸投資資訊：附表五。

(四) 母子公司間及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額：附表六。

三十、營運部門財務資訊

(一) 部門別財務資訊

合併公司提供給主要營運決策者用以分配資源及評量部門績效之資訊，著重於每一交付或提供之產品或勞務之種類。依國際財務報導準則第 8 號「營運部門」之規定，合併公司應報導部門如下：

1. 鑽頭事業部門：主要係設計及製造電鍍液、乾膜、鑽頭等印刷電路板原材料與加工業務等。
2. 貿易事業部門：自 101 年度起，合併公司新增商品經銷之業務。

合併公司 105 年及 104 年 1 月 1 日至 9 月 30 日有關營運部門財務資訊列示如下：

	105年1月1日至9月30日			
項目	鑽頭	貿易	其他	調整後金額
部門收入				
對外收入	$ 533,252	$ -	$ 49,204	$ 582,456
部門損益	$ 15,601	($ 324)	$ 9,327	$ 24,604
營業外收入及支出				(17,192)
稅前淨利				$ 7,412
部門資產	$2,719,588	$ 9,242	$ 126,101	$2,854,931

	104年1月1日至9月30日			
項目	鑽頭	貿易	其他	調整後金額
部門收入				
對外收入	$ 574,145	$ 60,509	$ 39,280	$ 673,934
部門損益	$ 5,450	$ 1,649	($ 585)	$ 6,514
營業外收入及支出				(5,058)
稅前淨利				$ 1,456
部門資產	$2,720,753	$ 38,796	$ 133,667	$2,893,216

部門利益係指各個部門所賺取之利潤，不包含權益法認列之投資損益、利息收入、處分固定資產損益、處分投資損益、兌換損益、金融商品評價損益、利息費用以及所得稅費用。此衡量金額係提供予主要營運決策者，用以分配資源予部門及評量其績效。

凱崴電子股份有限公司及其轉投資公司

資金貸與他人

民國 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表一

單位：新台幣／人民幣仟元

編號	貸出資金之公司	貸與對象	往來項目	是否為關係人	本期最高餘額	期末餘額	實際動支金額	利率區間 %	資金貸與性質	業務往來金額	有短期融通資金必要之原因	提列備抵呆帳金額	擔保品 名稱	擔保品 價值	對個別對象資金貸與限額（註一）	資金貸與最高限額（註一）
1	本公司	昆山滬崴電子有限公司等五家（註二）	其他應收款－關係人	是	$ 100,000	$ 100,000	$ 51,720 (RMB 3,000) (USD 1,200)	1.50%	業務往來	$ 97,453	轉投資公司營運週轉	$ -	—	$ -	$ 171,074	$ 684,294

註一：依本公司「資金貸與他人作業辦法」規定貸與他人資金之總額以不超過本公司最近期經會計師查核簽證或核閱之財務報表淨值之百分之四十為限。有資金融通之必要者，個別貸與金額，不得超過貸出資金之公司淨值之百分之十。

註二：104 年 5 月 7 日董事會通過之本公司資金貸與 100%轉投資公司一案。本公司擬資金貸與 100%轉投資公司（含 KEY WARE INTERNATIONAL LIMITED、ADVISOR MOVE INVESTMENTS LIMITED、MODULE SYSTEM INTERNATION LIMITED、昆山滬崴電子有限公司及昆山威興電子有限公司）短期融通，資金貸與總額以新台幣壹億元整（或等值外幣）為限，並授權董事長於董事會決議後一年內分次撥貸或循環動用。

凱崴電子股份有限公司及其轉投資公司

為他人背書保證

民國 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表二

單位：新台幣／日幣／美金仟元

編號	背書保證者公司名稱	被背書保證對象		對單一企業背書保證限額（註一）	本期最高背書保證餘額	期末背書保證餘額	實際動支金額	以財產擔保之背書保證金額	累計背書保證金額佔最近期財務報告淨值之比率	背書保證最高限額（註一）	屬母公司對子公司背書保證	屬子公司對母公司背書保證	屬對大陸地區背書保證
		公司名稱	關係										
0	本公司	ADVISOR	採權益法評價之被投資公司（子公司）	$ 342,147	$ 169,344 (USD 5,400)	$ 169,344 (USD 5,400)	$ 12,888 (JPY 41,575)	$ -	9.90%	$ 1,026,442	Y	N	N

註一：依本公司背書保證作業程序辦法，累計對外背書保證總額以不超過本公司最近期經會計師查核簽證或核閱之財務報告淨值之百分之六十為限，對單一企業背書保證金額不得超過前述淨值百分之二十。

註二：上述涉及日幣之資產負債金額依中國人民銀行 9 月底日幣與人民幣匯率 1：0.0660 換算人民幣，再以中國人民銀行 9 月底美金與人民幣匯率 1：6.6778 換算美金，最後以台灣銀行 9 月底美金與新台幣匯率 1：31.360 換算新台幣。

凱崴電子股份有限公司及其轉投資公司

期末持有有價證券情形

民國 105 年 9 月 30 日

附表三

單位：新台幣仟元

持有之公司	有價證券及名稱	與有價證券發行人之關係	帳列科目	期末 股數（仟股）	期末 帳面金額	期末 持股比率（%）	期末 市價／股權淨值	備註
本公司	股　票							
	尖點科技股份有限公司	—	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	1,988	$ 40,058	1.25	$ 40,058	註三
	橙的電子股份有限公司.	—	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	5	360	0.02	360	註三
	Silicon Motion Technology Corporation	—	透過損益按公允價值衡量之金融資產－流動	27	44,501	0.08	44,501	註三
	展旺生命科技股份有限公司	—	備供出售金融資產	7,900	212,103	3.21	212,103	註三
	經緯航太科技股份有限公司	—	備供出售金融資產	150	10,018	0.66	10,018	註五
	漢宇創業投資股份有限公司	—	以成本衡量之金融資產－非流動	2,000	15,923	4.44	21,527	註一
	Ultimate Access Group Limited	—	以成本衡量之金融資產－非流動	1,000	31,074	-	31,299	註二及四
	Concord Venture Capital Group Limited	—	以成本衡量之金融資產－非流動	772	22,800	13.57	24,187	註四

註一：係以該公司 104 會計師查核之財務報告計算。

註二：未發行股票。

註三：透過損益按公允價值衡量之金融資產及備供出售金融資產中屬上市及上櫃公司股票者，市價係依照 105 年 9 月 30 日之收盤價計算。

註四：係以該公司 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日未經會計師核閱之財務報告計算。

註五：備供出售金融資產屬興櫃公司股票者，市價係以該公司 105 年 9 月 30 日之最後交易價格計算。

凱崴電子股份有限公司及其轉投資公司

被投資公司名稱、所在地區...等相關資訊

民國 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表四

單位：新台幣／美金／人民幣仟元

投資公司名稱	被投資公司名稱	所在地區	主要營業項目	原始投資金額		期末持有			被投資公司本期利益（損失）	本期認列之投資利益（損失）	備註
				本期期末	上期期末	股數（仟股）	比率(%)	帳面金額			
凱崴電子股份有限公司	Key Ware International Limited	Trustnet Chambers, P.O. Box 3444, Road Town, Tortola, B.V.I.	一般投資	USD 23,717	USD 23,717	23,717	100.00	$ 1,280,991	$ 8,179 RMB 1,672	$ 8,179 RMB 1,672	註一
	慧朋科技股份有限公司	台灣省台北市大安區敦化南路二段 76 號 4 樓	電子零件、機械設備	1,000	1,000	100	99.99	970	1	1	註二
	榮沛科技股份有限公司	台灣省台北市大安區敦化南路二段 76 號 4 樓	一般投資	8,333	8,333	833	22.73	6,019	1,274	290	註二
Key Ware International Limited	Advisor Move Investments Limited	Trustnet Chambers, P.O. Box 3444, Road Town, Tortola, B.V.I.	一般投資	USD 9,960	USD 9,960	9,960	100.00	RMB 166,810	RMB 1,684	RMB 1,684	註一
	Module System International Limited	Scotia Centre, 4th Floor, P.O. Box 2804, George Town, Grand Cayman, Cayman Islands	一般投資	USD 12,932	USD 12,932	12,932	100.00	RMB 105,866	(RMB 16)	(RMB 16)	註一

註一：係以該公司 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日經會計師核閱之財務報告計算。

註二：係以該公司 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日未經會計師核閱之財務報告計算。

註三：大陸被投資公司相關資訊請參閱附表五。

凱崴電子股份有限公司及其轉投資公司

大陸投資資訊

民國 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表五

單位：新台幣／美金／人民幣仟元

大陸被投資公司名稱	主要營業項目	實收資本額	投資方式	本期期初自台灣匯出累積投資金額	本期匯出或收回投資金額		本期期末自台灣匯出累積投資金額	被投資公司本期損益	本公司直接或間接投資之持股比例	本期認列投資（損）益（註一）	期末投資帳面價值	截至本期止已匯回投資收益
					匯出	收回						
昆山滬崴電子有限公司	鑽孔工具、手工用具	$ 344,960 USD 11,000	透過第三地區投資設立公司再投資大陸公司	$ 264,678 USD 8,440	$ -	$ -	$ 264,678 USD 8,440	$ 7,282 RMB 1,477	100%	$ 7,618 RMB 1,545	$ 773,434 RMB 164,695	$ -
昆山威興電子有限公司	鑽孔工具、手工用具	412,917 USD 13,167	透過第三地區投資設立公司再投資大陸公司	412,917 USD 13,167	-	-	412,917 USD 13,167	-	100%	-	488,222 RMB 103,962	-
昆山鐳崴光電科技有限公司（註二）	鐳射鑽孔代工	9,392 RMB 2,000	透過昆山滬崴電子有限公司投資大陸公司	-	-	-	-	1,918 RMB 389	100%	1,918 RMB 389	9,721 RMB 2,070	-

本期期末累計自台灣匯出赴大陸地區投資金額	經濟部投審會核准投資金額	依經濟部投審會規定赴大陸地區投資限額
$ 694,844（USD22,157）	$ 759,759（USD24,227）	$1,026,442（註四）

註一：係依被投資公司 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日經會計師核閱之財務報告認列。

註二：係昆山滬崴電子有限公司於 104 年 8 月、9 月及 10 月以人民幣 2,000 仟元投資設立。

註三：上述涉及美金之資產及損益金額分別依台灣銀行 9 月底及 1 至 9 月美金買進賣出平均匯率 1：31.360 及 1：32.428 換算新台幣。

註四：依據「在大陸地區從事投資或技術合作審查原則」規定，投資人對大陸投資累計金額不得超過淨值或合併淨值之 60%，其較高者。

註五：上述涉及人民幣之資產負債金額依中國人民銀行 9 月底美金與人民幣匯率 1：6.6778 換算美金，再以台灣銀行 9 月底美金與新台幣匯率 1：31.360 換算新台幣。

註六：上述涉及人民幣之損益金額依中國人民銀行 1 至 9 月美金與人民幣匯率 1：6.5771 換算美金，再以台灣銀行 1 至 9 月美金與新台幣匯率 1：32.428 換算新台幣。

凱崴電子股份有限公司及其轉投資公司

母子公司間業務關係及重要交易往來情形及金額

民國 105 年 1 月 1 日至 9 月 30 日

附表六

單位：新台幣仟元

編號（註一）	交易人名稱	交易往來對象	與交易人之關係（註二）	交易往來情形			
				科目	金額（註五）	交易條件	佔合併總營收或總資產之比率（註六）
0	本公司	昆山滬崴	1	應收帳款	$ 50,604	註三	1.77
		昆山滬崴	1	其他應收款	53,301	—	1.87
		昆山滬崴	1	應付帳款	14,220	註四	0.50
		昆山滬崴	1	銷貨成本	77,476	註四	13.30
		昆山滬崴	1	銷貨收入	77,612	註三	13.32
		昆山滬崴	1	未實現銷貨毛利	1,770	—	0.30
		昆山滬崴	1	已實現銷貨毛利	1,246	—	0.21
1	ADVISOR	昆山滬崴	3	應收帳款	12,160	註三	0.43
		昆山滬崴	3	銷貨收入	452	註三	0.08
		昆山滬崴	3	折舊費用	332	—	0.06
2	昆山滬崴	昆山鐳崴	3	其他應收款	18,235	—	0.64
		昆山鐳崴	3	什項收入	4,137	—	0.71

註一：母公司及子公司相互間之業務往來資訊應分別於編號欄註明，編號之填寫方法如下：

1.母公司填 0。

2.子公司依公司別由阿拉伯數字 1 開始依序編號。

註二：與交易人之關係有以下三種，標示種類即可：

1.母公司對子公司。

2.子公司對母公司。

3.子公司對子公司。

註三：交易價格係以成本為基礎，並由雙方參考市場行情議價辦理，交易條件為月結 180 天。

註四：交易價格係以成本為基礎，並由雙方參考市場行情議價辦理，交易條件為月結 120 天。

註五：編製合併報表時，母子公司間交易業已沖銷。

註六：交易往來金額佔合併總營收或總資產比率之計算，若屬資產負債科目者，以期末餘額佔合併總資產之方式計算；若屬損益科目者，以期中累積金額佔合併總營收之方式計算。